

# レジストレーションのデータだけを差し替える

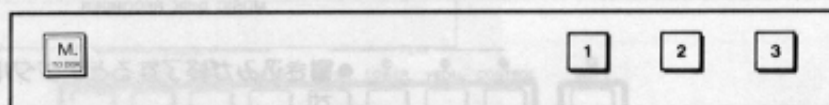
## 機能説明

録音した後で、演奏データはそのままにしてレジストレーションのデータだけを一括して差し替えることができます。

## 操作方法

1

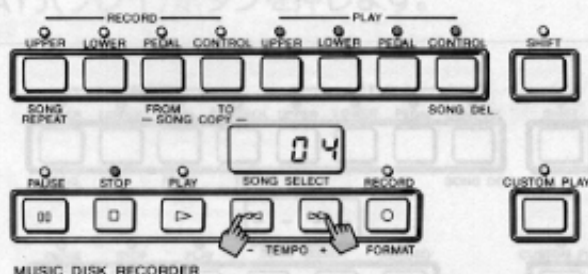
新しく記録するレジストレーションのデータをレジストレーションメモリーボタンに記憶させておきます。



- レジストレーションメモリーボタンは上鍵盤の前側面にあります。レジストレーションデータを記憶させる方法はP151をご覧ください。

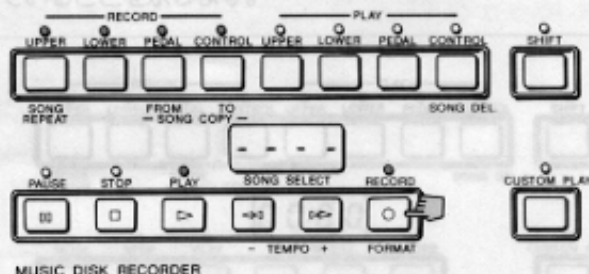
2

〔SONG SELECT〕(ソングセレクト)ボタンを押してソングナンバーを選びます。



- 選んだソングナンバーがデジタルディスプレイに表示されます。

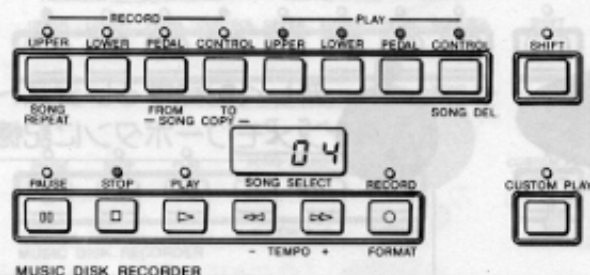
〔RECORD/FORMAT〕(レコード/フォーマット)ボタンを押しながら、〔M./TO DISK〕(メモリートゥーディスク)ボタンを押します。



- データの読み込みが完了すると、デジタルディスプレイに時間が表示され、再生がスタートします。

これで、選択したソングナンバーの演奏またはレジストレーションのデータが再生できました。

# レジストレーションのデータだけを差し替える



- 書き込みが終了するとデジタルディスプレイはソングナンバー表示に変わります。

これで、前に記録したレジストレーションのデータが消去され、1で用意しておいたレジストレーションのデータが記録されました。

## ♪ 操作のポイント

- レジストレーションデータの差し替えは、レジストレーションを記録する場合と同様に、レジストレーションメモリーボタンに現在記録している全てのデータを一括して差し替えられます。



## ■メモリー残量の確認

- メモリー残量の確認は、メモリー残量ボタンを押すことで確認できます。
- メモリー残量の確認は、メモリー残量ボタンを押すことで確認できます。
- メモリー残量の確認は、メモリー残量ボタンを押すことで確認できます。



- ボタンを押している間、メモリー残量がデジタルディスプレイに表示されます。

- メモリー残量の表示は、メモリー残量ボタンを押すことで確認できます。
- メモリー残量の表示は、メモリー残量ボタンを押すことで確認できます。
- メモリー残量の表示は、メモリー残量ボタンを押すことで確認できます。

## 演奏を再生する

るを主再奏楽

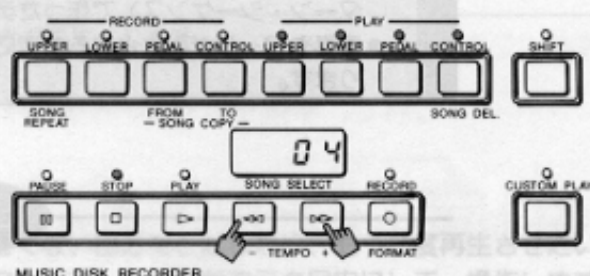
## 機能説明

録音した演奏の再生や、レジストレーションのデータを再現します。

## 操作方法

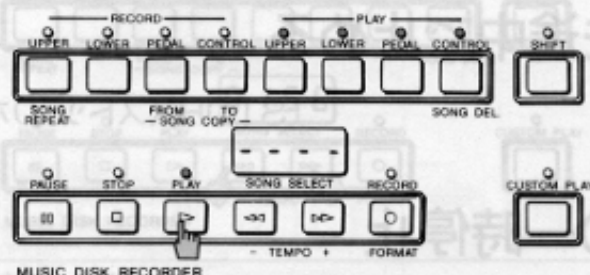
基本的な再生方法は、ソングナンバーを選んで〔PLAY〕(プレイ)ボタンを押すだけです。

(SONG SELECT)(ソングセレクト)ボタンを押して、再生させるソングナンバーを選びます。

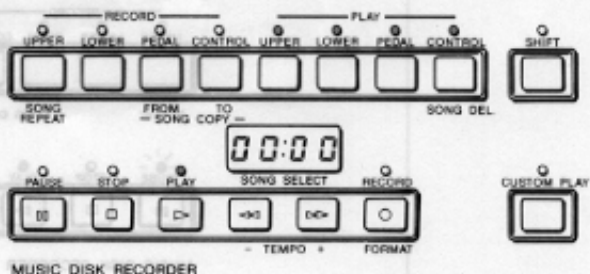


- 選択したソングナンバーが、デジタルディスプレイに表示されます。

(PLAY)(プレイ)ボタンを押します。



- PLAY (プレイ) ランプが赤く点灯し、レジストレーションのデータがエレクトーンに読み込まれます。
- デジタルディスプレイでは(---)が右から左に走行し、データの読み込みをしていることを示します。



- データの読み込みが終了すると、デジタルディスプレイに時間が表示され、再生がスタートします。

これで、選択したソングナンバーの演奏またはレジストレーションのデータが再生できました。



## 操作のポイント

- ストップ状態のときに、プレイセクションのランプが点灯していれば、その鍵盤の演奏は再生可能です。電源を入れた直後では、プレイセクションの全てのランプが点灯しています。

## 注意

- 再生中は絶対に、電源を切ったり、ディスク取り出しボタンを押したりしないでください。
- デジタルディスプレイに時間が表示されても、すぐに演奏を再生できないことがあります。録音する際に、メモリー残量表示に切り替わってもすぐ演奏を始めなかった場合などは、録音が遅れた分だけ再生のスタートも遅れることになります。
- レジストレーションデータを読み込むとき、リズムが発音していると、リズム（パターン・シーケンス）で作ったデータは読み込まれません。
- 演奏やデータが再生されるまでに、データを読み込むための時間がかかる場合があります。

## こんなこともできる

- ユーザーボイス、ユーザーリズム/パターン、リズムシーケンスデータ以外のレジストレーションのデータのみを再生するには、SHIFT(シフト)ボタンを押しながら、(CUSTOM PLAY)(カスタムプレイ)ボタンを押します。この方法は、レジストレーションのデータを短時間で読み込ませるときに便利です。

次に再生中のいろいろな操作について説明します。

## ■再生を途中で止める

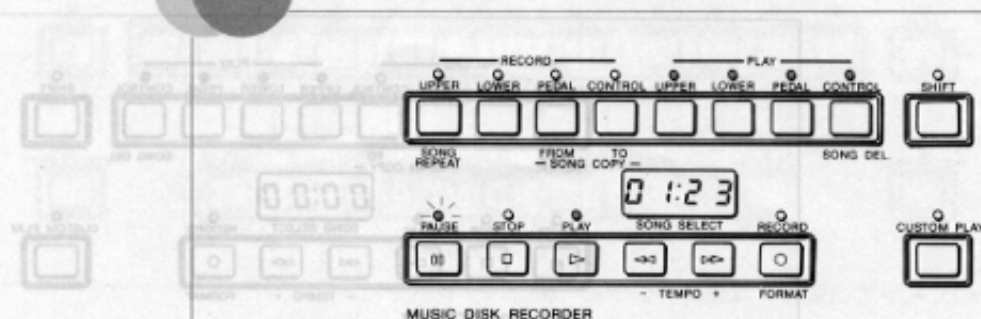
(STOP)(ストップ)ボタンを押します。

## ■再生の一時停止

### 機能説明

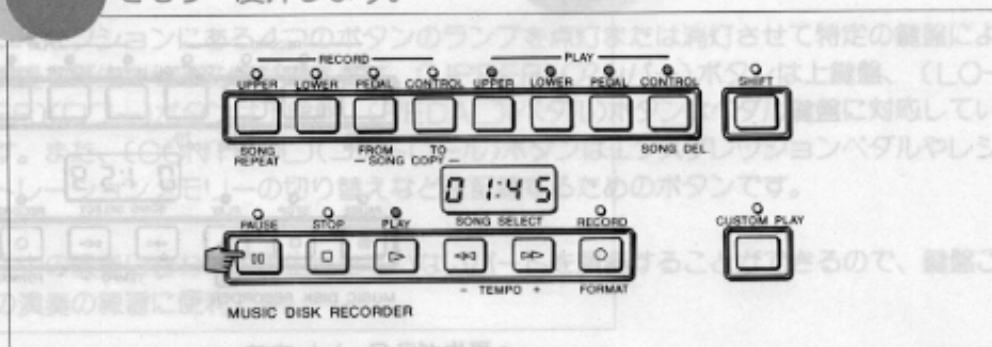
再生を一時的に停止させることができます。

(PAUSE)(ポーズ)ボタンを押します。



- (PAUSE)(ポーズ)ボタンの赤ランプが点滅します。
- デジタルディスプレイに表示されている時間表示の進捗が停止し、再生が一時的にストップします。

■特定のパート  
機能説明  
一時停止の状態を解除したい場合は、(PAUSE)(ポーズ)ボタンをもう一度押します。



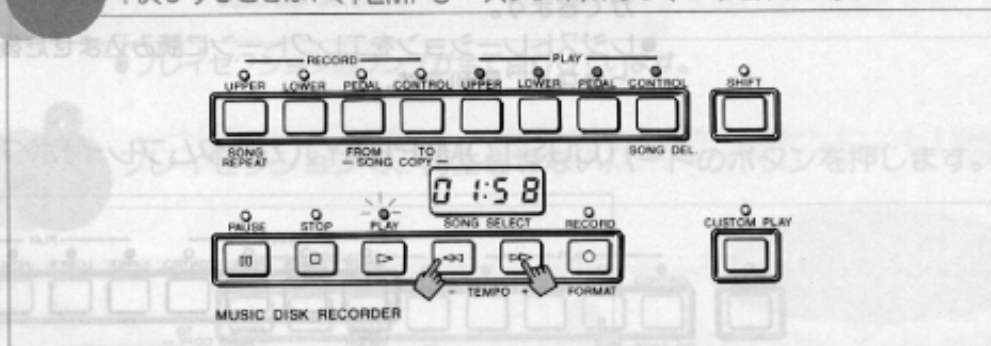
- 曲の続きが再生されます。

## ■再生の早送り、早戻し

### 機能説明

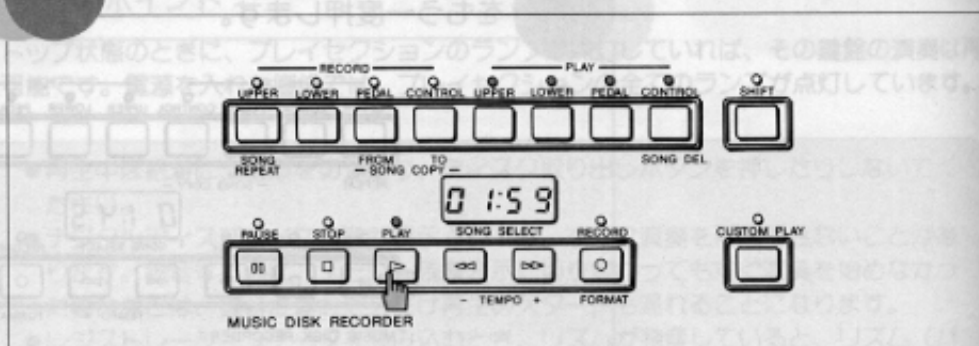
再生中に、再生させたくない部分を飛ばしたり、もう一度再生させたい部分に戻したりできます。デジタルディスプレイの時間表示を目安にして、操作します。

早送りするときは、(TEMPO +)(テンポ)ボタン(▶▶)を押します。  
早戻しするときは、(TEMPO -)(テンポ)ボタン(◀◀)を押します。



- 再生が中断します。
- デジタルディスプレイの時間表示が早送り、または早戻しされます。
- 再スタートさせたい時間を表示させます。
- (TEMPO +)または(TEMPO -)ボタンを押し続けると、連続して早送り、早戻しすることができます。
- 一時停止状態になり、(PLAY)(プレイ)ボタンが点滅します。

(PLAY)(プレイ)ボタンを押します。



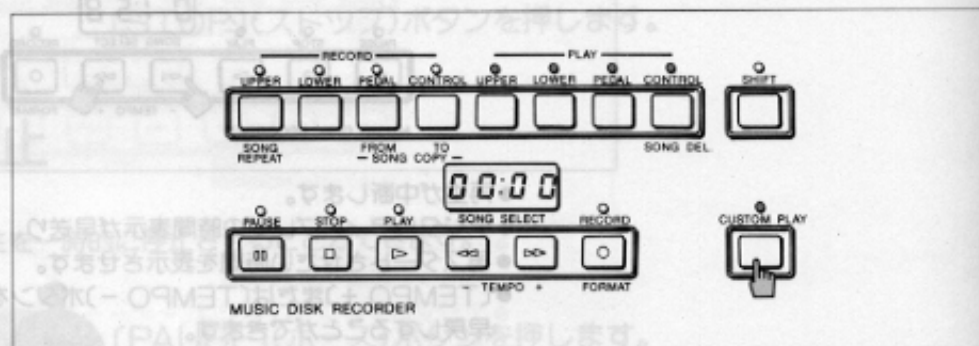
●再生がスタートします。

これで、早送りまたは、早戻しした部分から再生できました。

## ■演奏だけを再生する(カスタム再生)

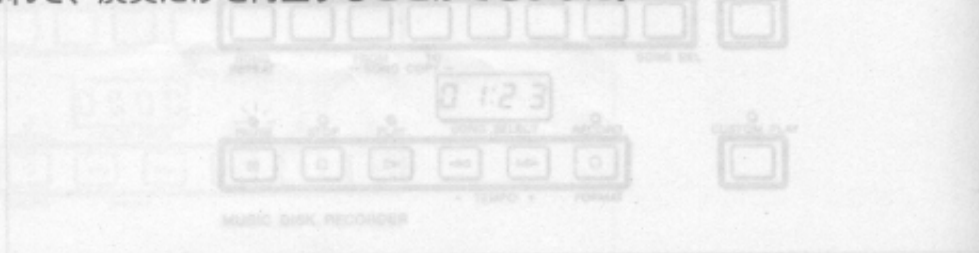
- レジストレーションのデータは再生させずに、演奏だけを再生させることができます。
- レジストレーションのデータがエレクトーンに読み込まれないので、読み込み時間が節約される分、(PLAY)(プレイ)ボタンを押したときに比べて短時間で再生することができます。
- レジストレーションをエレクトーンに読み込ませた後、同じ曲を繰り返し再生したいときなどに便利です。

(CUSTOM PLAY)(カスタムプレイ)ボタンを押します。



●デジタルディスプレイが時間を表示し、演奏の再生がスタートします。

これで、演奏だけを再生することができました。



●(PAUSE)(ポーズ)ボタンのランプが点滅します。

●デジタルディスプレイに表示されている時間表示の進行が停止し、再生が一時的にストップします。



## ■特定のパート再生

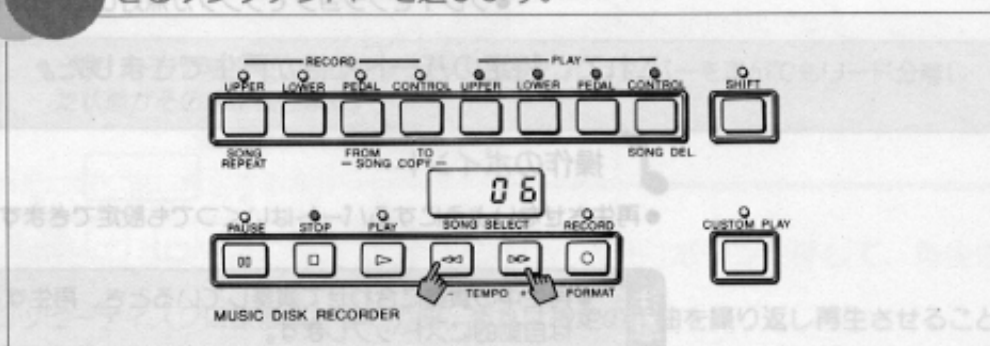
### 機能説明

プレイセクションにある4つのボタンのランプを点灯または消灯させて特定の鍵盤による演奏を再生させることができます。(UPPER)(アッパー)ボタンは上鍵盤、(LOWER)(ロワー)ボタンは下鍵盤、(PEDAL)(ペダル)ボタンはペダル鍵盤に対応しています。また、(CONTROL)(コントロール)ボタンはエクスプレッションペダルやレジストレーションメモリーの切り替えなどを記録するためのボタンです。

再生中の演奏に合わせて再生させていないパートを演奏することができるので、鍵盤ごとの演奏の練習に便利です。

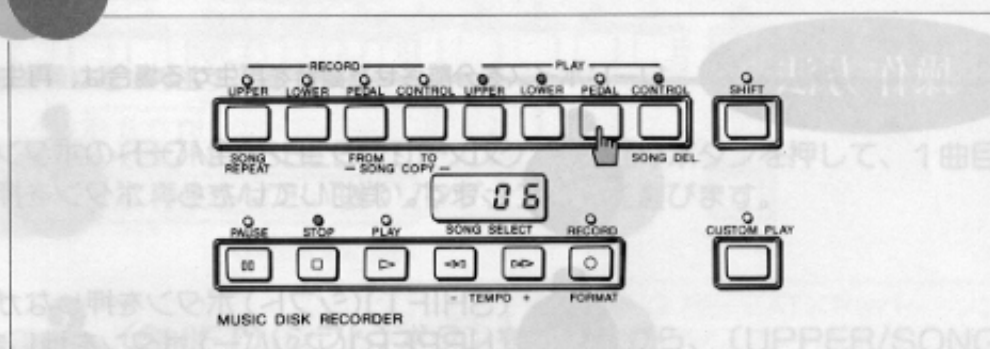
### 操作方法

1 (SONG SELECT)(ソングセレクト)ボタンを押して、再生させるソングナンバーを選びます。

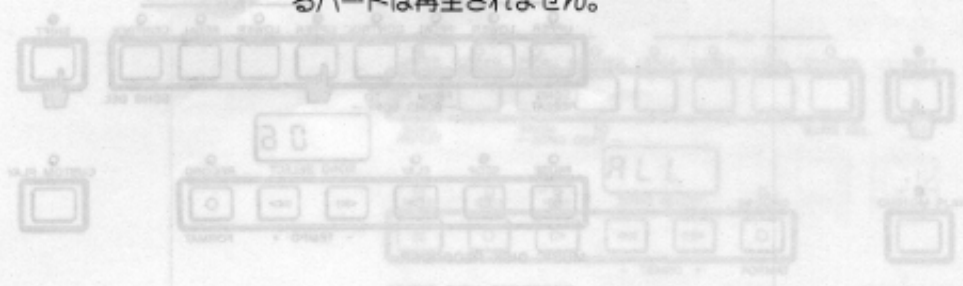


●プレイセクションのランプが全て点灯しています。

2 プレイセクションで、再生させないパートのボタンを押します。



●プレイセクションでは、押したボタンのランプが消えます。ランプが消えているパートは再生されません。

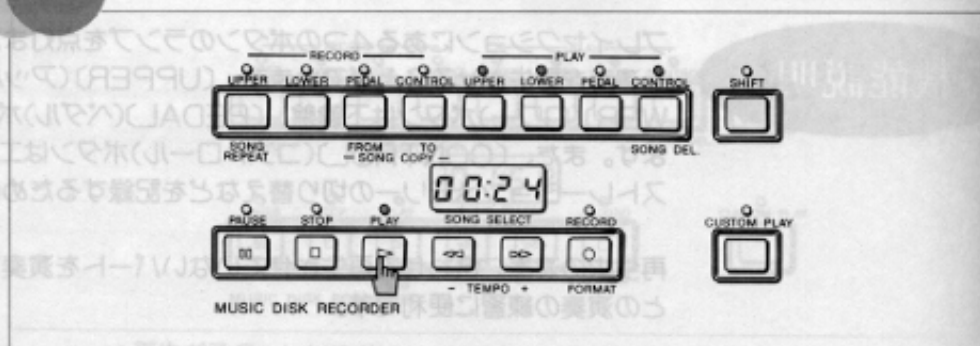


●(UPPER)(アッパー)ボタンと(LOWER)(ロワー)ボタンのランプが点灯します。

●(SHIFT)(シフト)ボタンと(UPPER/SONG REPEAT)(アッパー/ソングリピート)ボタンのランプが点灯します。

●デジタルディスプレイには(ALL)が表示されます。

(PLAY)(プレイ)ボタンを押します。



- (PLAY)(プレイ)ボタンのランプが点灯します。
- レジストレーションデータがエレクトーンに送信されます。
- プレイセクションでランプが点灯しているパートの演奏がスタートします。

これで、特定のパートだけが再生できました。

### 操作のポイント

- 再生させないようにするパートはいくつでも設定できます。

注意

- 再生中の演奏に合わせて演奏しているとき、再生するデータがなくなると、MDRは自動的にストップします。

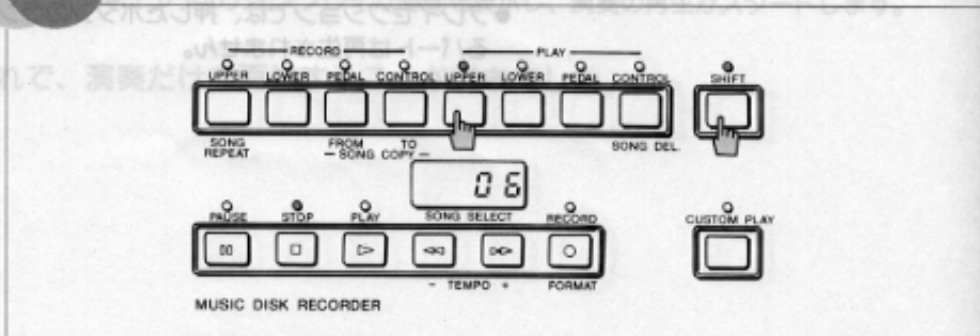
## リードボイスを分離した録音の再生

### 操作方法

リードボイスを分離させた録音を再生する場合は、再生のたびにこの操作が必要です。

プレイセクションの全パートのボタンが点灯していることを確認します。消灯していたら、ボタンを押します。

(SHIFT)(シフト) ボタンを押しながら、プレイセクションの(UPPER)(アッパー) ボタンを押します。

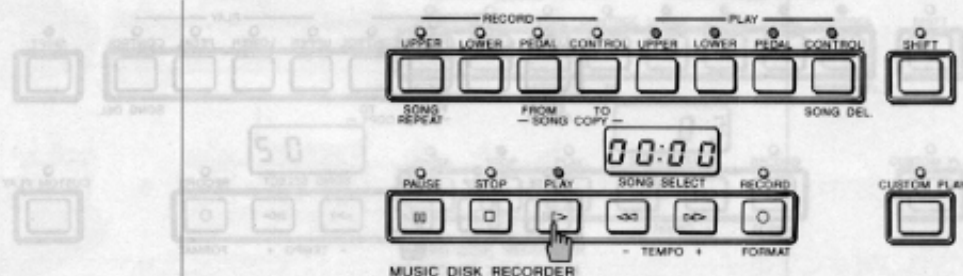


- (UPPER)(アッパー)ボタンのランプが点灯します。



3

(PLAY)(プレイ)ボタンを押します。



。なお、この表示はセーバーに設定されている場合は主音、ソフト、ハードディスク、メモリーが点灯します。

これで、リードボイスを分離した録音の再生ができました。

注意

- 一度リード分離再生の操作をすると、別のソングナンバーを選んででもリード分離した状態がそのまま残ります。

## ■繰り返し再生

### 機能説明

フロッピーディスクに録音した全ての曲、または特定の1曲を繰り返し再生させることができます。

### 操作方法

繰り返し再生させたい曲のソングナンバーを選ぶ場合、全曲か1曲だけかによって操作方法が違います。

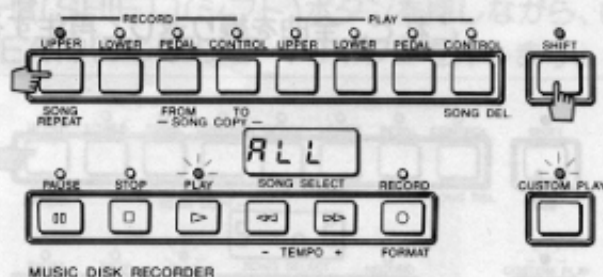
全曲を繰り返し再生する場合

1

(SONG SELECT)(ソングセレクト)ボタンを押して、1曲目に再生させたい曲のソングナンバーを選びます。

2

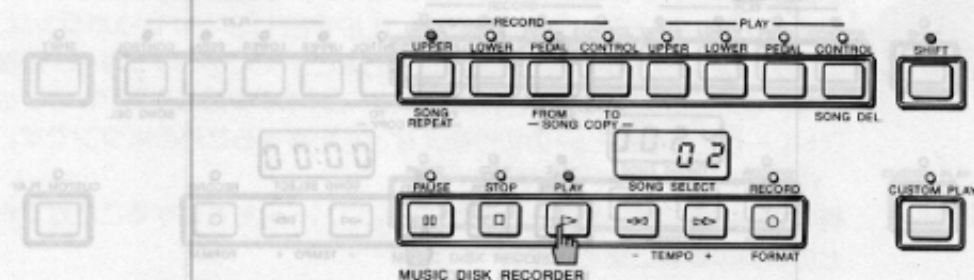
(SHIFT)(シフト)ボタンを押しながら、(UPPER/SONG REPEAT)(アッパー/ソングリピート)ボタンを押します。



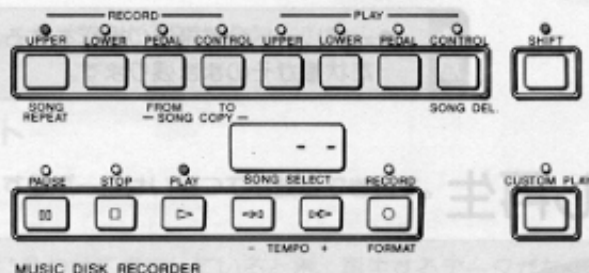
- (SHIFT)(シフト)ボタンと(UPPER/SONG REPEAT)(アッパー/ソングリピート)ボタンのランプが点灯します。
- デジタルディスプレイには「ALL」が表示されます。

3

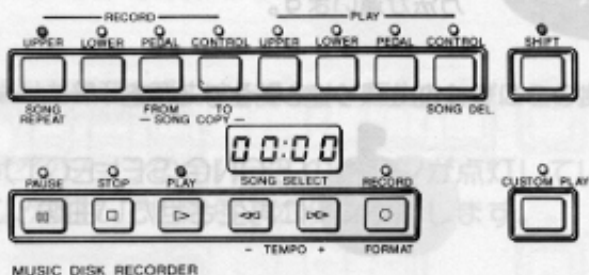
(PLAY)(プレイ)ボタンを押します。



- デジタルディスプレイに、再生されるソングナンバーが表示されます。

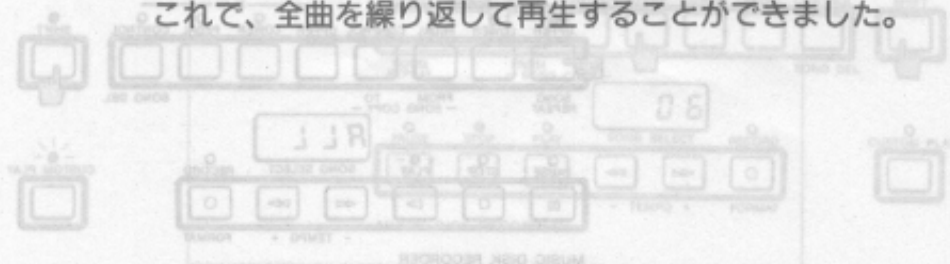


- レジストレーションがエレクトーンに送信中は、デジタルディスプレイに( - )が走行します。
- 送信が終了すると、デジタルディスプレイは時間表示に切り替わります。



- 演奏の再生がスタートします。
- 最初に選んだ1曲目の再生が終了すると、2曲目からは、データが記録されているソングナンバーが自動的に探し出されて、順次再生されます。

これで、全曲を繰り返して再生することができました。

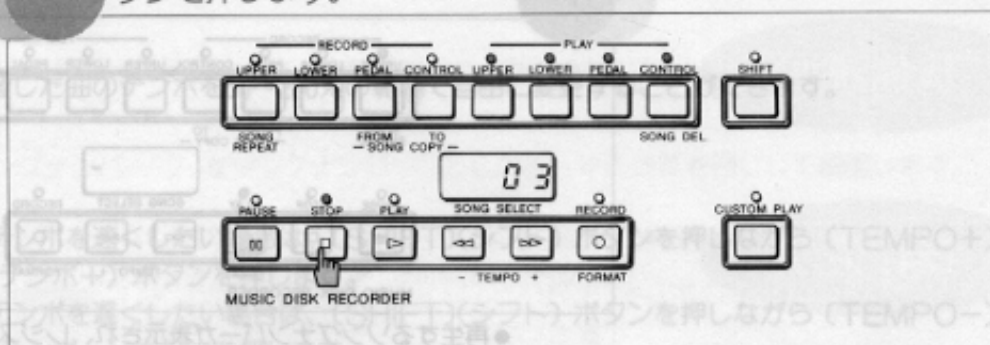


- (UPPER)(アップ)ボタンのランプが点灯します。

●(SHIFT)(シフト)ボタンを押すと、(UPPER REPEAT)(アップリピート)モードに入ります。  
●(ALL)(オール)ボタンを押すと、(ALL REPEAT)(オールリピート)モードに入ります。

4

繰り返し再生をストップさせたいときは、(STOP)(ストップ)ボタンを押します。



●(STOP)(ストップ)ボタンのランプが点灯します。

注意

●1枚のディスクに、リードボイスを分離して録音した曲と、分離していない曲がまざっている場合は、正常な繰り返し再生ができません。

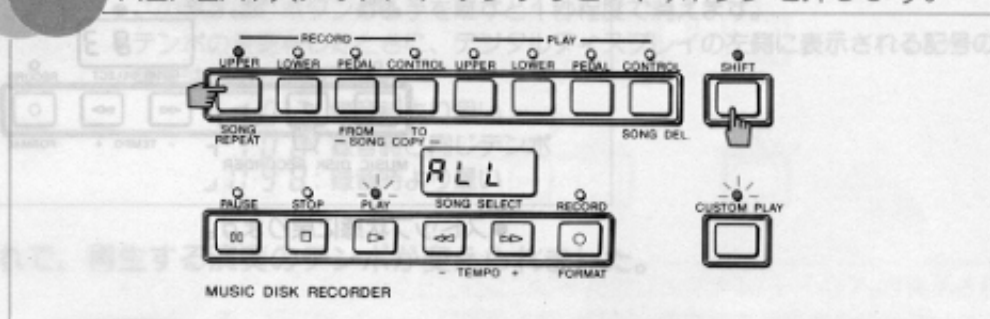
1曲だけ繰り返し再生する場合

1

(SONG SELECT)(ソングセレクト)ボタンを押して、再生させたい曲のソングナンバーを選びます。

2

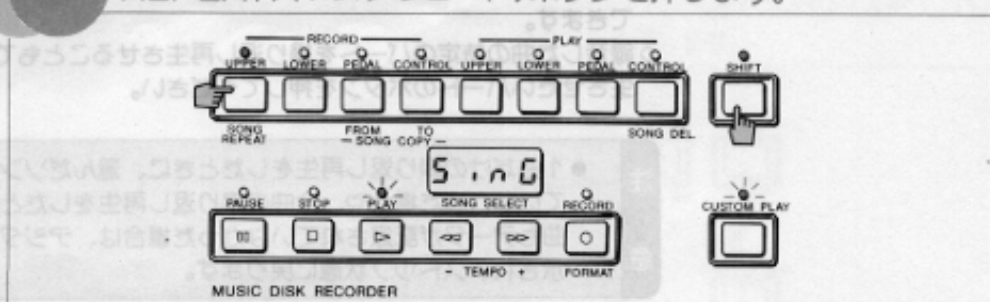
(SHIFT)(シフト)ボタンを押しながら、(UPPER/SONG REPEAT)(アッパー/ソングリピート)ボタンを押します。



●(SHIFT)(シフト)ボタンと(UPPER/SONG REPEAT)(アッパー/ソングリピート)ボタンのランプが点灯し、デジタルディスプレイには(ALL)が表示されます。

3

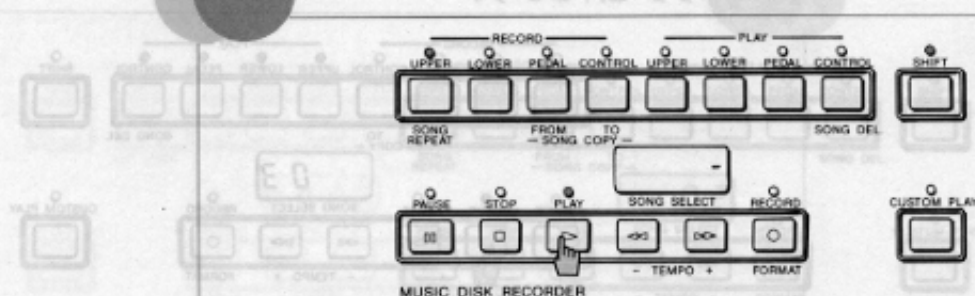
もう一度(SHIFT)(シフト)ボタンを押しながら、(SONG REPEAT)(ソングリピート)ボタンを押します。



●デジタルディスプレイの表示が(ALL)から(SING)に切り替わり、1曲だけのリピート再生ができる状態になったことを示します。



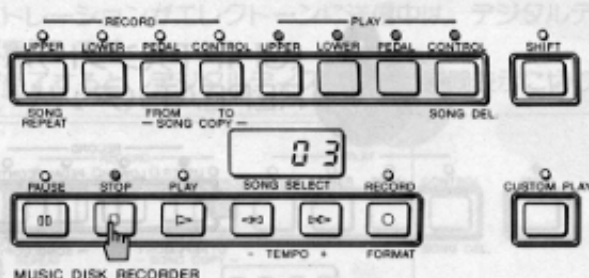
(PLAY)(プレイ)ボタンを押します。



- 再生するソングナンバーが表示され、レジストレーションがエレフーンに送信されます。
- 送信中はデジタルディスプレイに右から左へ(←)が走行し、送信が終了すると時間表示に切り替わります。
- 1曲だけのリピート再生をした場合、曲の終わりまで再生すると、同一のソングナンバーが表示されます。そして、再びレジストレーションのデータが送信され、再生を繰り返します。

これで、一曲だけを、繰り返して再生することができました。

繰り返し再生をストップさせたいときは、(STOP)(ストップ)ボタンを押します。



- ストップ状態に戻ります。

こんなこともできる

- レジストレーションのデータがエレフーンにすでに送信されているときは、(PLAY)(プレイ)ボタンではなく(CUSTOM PLAY)(カスタムプレイ)ボタンを押して、再生を始めます。レジストレーションのデータをもう一度送信しないで済むので、すぐに繰り返し再生ができます。
- 録音した曲の特定のパートを繰り返し再生させることもできます。プレイセクションで、再生させたいパートのボタンを押してください。

注意

- 1曲だけの繰り返し再生をしたときに、選んだソングナンバーにデータが記録されていない場合や、全曲の繰り返し再生をしたときに、フロッピーディスクに1曲もデータが記録されていない場合は、デジタルディスプレイに(00:00)が表示され、ストップ状態に戻ります。